

埼玉県立がんセンター がんゲノム医療センターニュース

News from Center for Cancer Genomic Medicine, Saitama Cancer Center
(Saitama-CCGM News)



第3号

ご挨拶

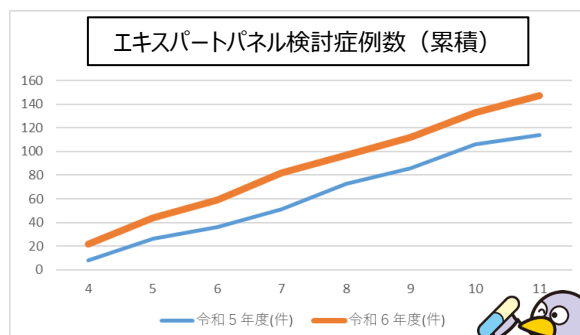
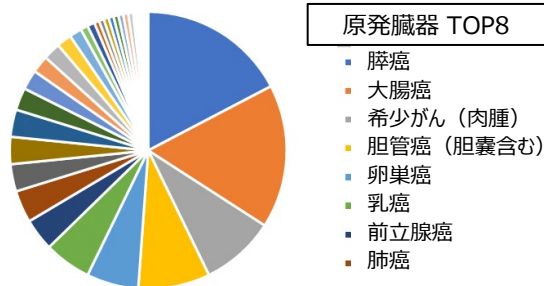
埼玉県立がんセンターは、全国32施設ある「がんゲノム医療拠点病院」の一つとして、良質ながんゲノム医療を実現するために活動しています。がんゲノム医療センターの活動の一部をニュースとしてご紹介します。

埼玉がんセンターで実施されたがん遺伝子パネル検査 がんゲノムプロファイル検査 (Comprehensive Genome Profiling test, CGP test)

CGP検査の実績

2019年に始まった本邦での保険診療下CGP検査は累計89469人*となりました。当施設では累計569名**、令和6年10月までに140名の患者さんがCGP検査を受診されました。膵臓、大腸、胆道のがんの方が多いですが、希少がんなど幅広く実施されています。CGP検査の結果はエキスパートパネルで検討され、遺伝子変化に基づいた治療薬の推奨や候補となる薬剤の治験が提案されます。

CGP検査は治療薬の適応判定に**必要不可欠なコンパニオン診断薬**として実施される機会が増えています。



*C-CAT HP掲載 2024年10月までの登録数、**院内登録情報 2024年10月までの登録数



コラム：治験とは？

ひとにおける試験を「臨床試験」といいますが、「くすりの候補」を用いて国の承認を得るための成績を集める臨床試験は、特に「治験」と呼ばれています。新しく開発された薬剤の効果、安全性を調べる試験です。

治験は新しい治療をいち早く受けることができることがメリットです。デメリットもありますので、さらに詳しい情報は厚生労働省ホームページ等をご参照ください

埼玉県立がんセンター がんゲノム医療センターニュース

News from Center for Cancer Genomic Medicine, Saitama Cancer Center
(Saitama-CCGM News)



第3号

連携施設のご紹介 4施設と連携しています

埼玉県立がんセンターは4つのがんゲノム医療連携病院と連携しています。

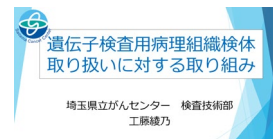
- 埼玉県立小児医療センター
- 佐久総合病院佐久医療センター
- 上尾中央総合病院 **New!**
- 春日部市立医療センター **New!**

連携病院では、CGP検査の出検、患者さんへの結果説明が可能ですので、患者さんの負担が軽減されます。

今後ますます地域の連携を強化し、がん患者さんに最適な医療を受ける機会を提供してまいります。

研究発表紹介

検査技術部の工藤綾乃臨床検査技師が、当院における「遺伝子検査用病理組織検体取り扱いに対する取り組み」について第51回埼玉県医学検査学会にて研究発表しました(2023年12月)。検体作成を工夫し改善することで、遺伝子検査の完遂率が向上しました。



当院では、多職種のエキスパートが日々研鑽を重ね、よりよい診療を提供できるように努力しています。

新しい薬剤が次々に開発されています。精密医療として、標的となる遺伝子変化がある患者さんに効果の期待できる薬剤を届けることが大切です。がんゲノム・バイオマーカー検査はその第一歩です。

がんゲノムプロファイル検査にご興味のある方は、主治医、がん相談支援窓口にお問い合わせください。

参考サイト：がんゲノム情報管理センター <https://for-patients.c-cat.ncc.go.jp/>
PMDAホームページ <https://www.pmda.go.jp/>
厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/fukyu.html>

発行：令和7年1月20日
編集長：がんゲノム医療センター長 元井
編集担当：竹下